

伸光写真サービス株式会社

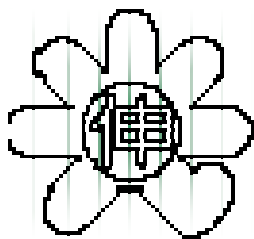
Shinko Photograph Service Ltd.

エコアクション21

# 環境活動レポート2011

(対象期間 2010年4月～2011年3月)

2011年9月30日作成



認証・登録番号 0000538

ENVIRONMENTAL ACTIVITY REPORT2011



当社は写真のプリント技術を生かして電子業界の最先端技術を取り入れながら様々な分野の電子部品の試作品を製作しています。

私たちの製作している電子部品は世界の人々を結びつけ、宇宙開発にも貢献しています。

環境活動を通して世界の人々に幸せを、未来に希望を与えたい・・・

太陽がある限り**伸**びる**光**のように！ そう願って活動した1年間の記録をご覧ください。

目次

1. 会社概要	1
2. 環境方針	2
3. 実施体制	3
4. 環境目標と実績	4
5. 環境活動計画及び取組内容	
5.1 省エネルギー活動	5
5.2 省資源活動	6
5.3 廃棄物の削減	7
5.4 環境教育訓練・コミュニケーション	8
6. 環境活動計画取組結果とその評価、 次年度の取組内容	9
7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無・ 代表者による全体評価と見直し	10

1. 伸光写真サービス(株) 会社概要

- ◇ 所在地                   〒224-0053 横浜市都筑区池辺町 4363 番地 18
- ◇ 設 立                   昭和 52 年 7 月 1 日
- ◇ 代表者                  代表取締役社長  大山 啓治
- ◇ 資本金                  払込済 資本金     3,450 万円
- ◇ 環境管理責任者       取締役 専務     今井 俊夫
- ◇ 連絡先                  〒224-0053 横浜市都筑区池辺町 4363 番地 18  
TEL   :   045 (933) 8311  
FAX   :   045 (933) 8318
- ◇ 事業内容               プリント配線板の製造・メタルエッチング及び  
工業用精密マスク製造
- ◇ 事業の規模             主要製品生産量   3.57 t  
製品出荷額       3.92 億円(2010 年 4 月～2011 年 3 月)  
従業員総数       31 名  
床 面 積           640.63m<sup>2</sup>



## 2. 環境方針

### 環境保全基本方針

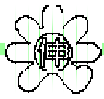
伸光写真サービス株式会社は住宅地域に密着した企業として、身近な周辺環境保全と資源の節減・回収・リサイクル問題に積極的に取り組み、環境に配慮した事業活動を推進し“かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐ”事を目指し次の環境活動を展開します。

- ① 事業活動より発生する各種産業廃棄物、一般廃棄物の管理及び化学物質の管理を徹底し法令を遵守すると共に、各種廃棄物の削減・回収・リサイクルに努めます。
- ② 水質汚染・大気汚染の予防及び騒音問題についても法令を遵守すると共に、地域周辺への配慮を優先した事業活動を行います。
- ③ 消費電力・ガソリン・コピー用紙・上水道等の使用量削減を中心とした省エネルギー・省資源活動を行い、CO<sub>2</sub>の削減に努めるとともにグリーン調達を推進します。
- ④ 周辺住民との積極的な対話を持ち、環境保全についての地域行事に進んで参加します。

以上のことを実施するため、環境に関する目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進する。

この環境方針は、全社員に周知させると共に、外部の利害関係者が入手可能にする。

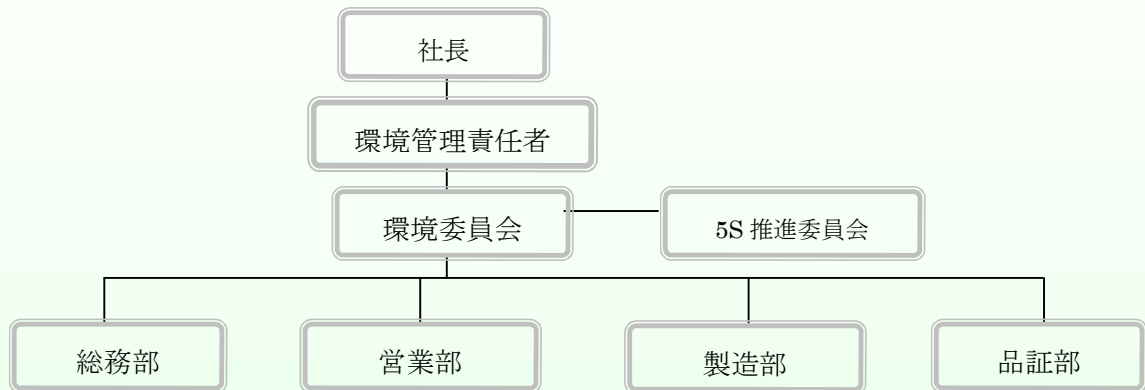
制定日 2005年06月20日  
改定日 2007年09月27日  
改定日 2011年09月16日  
伸光写真サービス株式会社  
代表取締役社長 大山 啓治



### 3. マネジメント体制

#### 実施体制

効果的に環境マネジメントを実施するために環境マネジメント体制を確立し、環境組織での役割と責任(環境管理役割権限表)を明確にし環境保全活動を推進しています。



#### 環境管理役割・権限

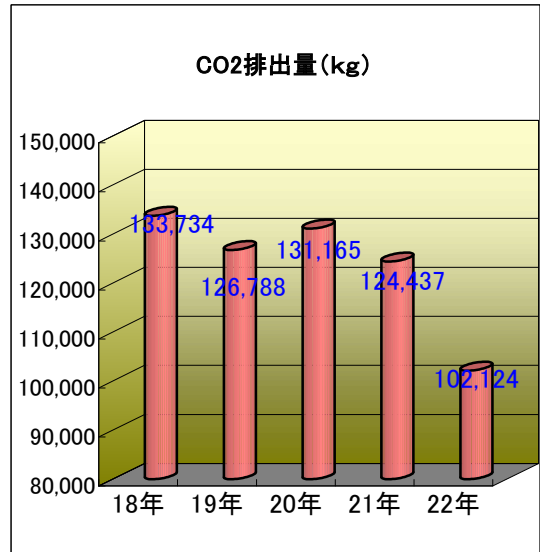
- 【代表取締役社長】：環境方針の決定と見直し、環境マネジメントシステムの見直し。  
経営資源の提供、全社の環境目的、目標および環境実施計画の承認。
- 【環境管理責任者】：環境マネジメントシステムの構築、実施、維持。全社の環境目的、目標および環境実施計画の作成・進捗状況の評価、法規制の遵守状況の定期的な評価、内部環境監査の実施。
- 【部署長（共通）】：各部署の環境目的・目標の部内周知・徹底と管理、各部署の環境実施計画の部内徹底とフォロー。一部関連環境文書類の承認、環境関連教育の立案、実施の管理、部関連環境記録類の管理。  
是正、予防処置の実施、一般廃棄物の管理と削減促進。
- 【総務部】：環境関連法規制および届出の管理。環境関連教育の立案、環境関連文書、記録並びに契約書管理、省資源(上水道の使用量の削減)統轄管理、外部コミュニケーションの窓口業務。
- 【営業部】：環境に関する顧客情報の収集と報告、ガソリンとコピー用紙削減の促進。
- 【品質保証部】：環境に関する顧客よりの資料請求の対応と報告、環境に関連する外注先の管理、指導。  
改善提案の管理。
- 【製造部】：諸設備の保守、稼働監視管理、劇物等の保管管理。排水の水質管理、産業廃棄物の管理と削減促進。
- 【環境委員会】：環境情報(法規制情報含む)の部門間の伝達。環境目的、目標及び環境実施計画の実績フォロー。環境委員会の議事録の作成。省エネルギーの統括管理。



## 4. 環境目標と実績

### ■ 環境負荷の目標（年度は4月～翌年3月）

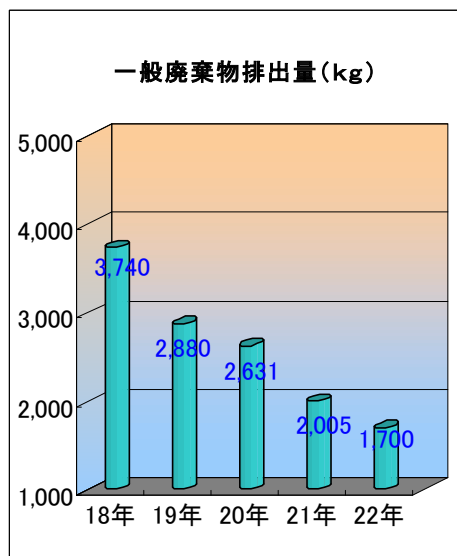
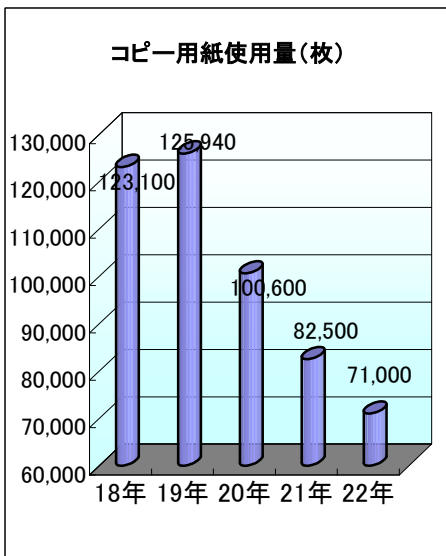
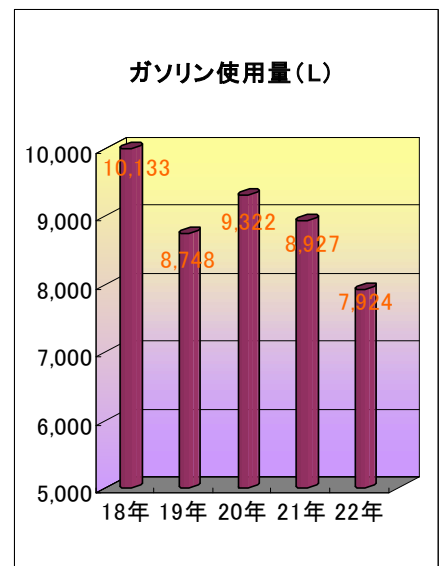
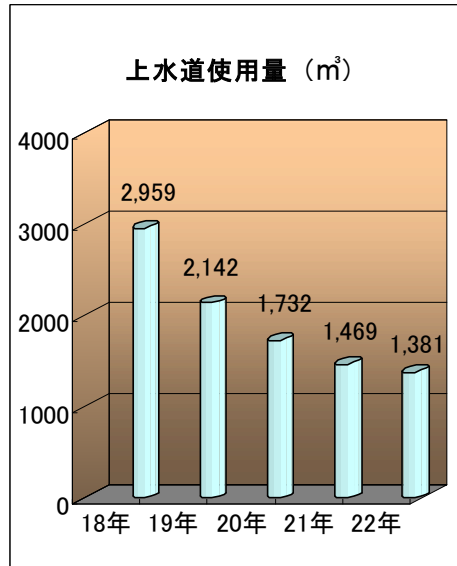
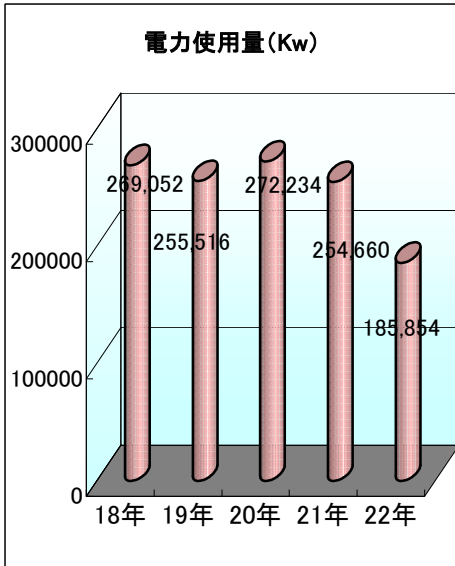
項目		単位	平成23年 目標	平成24年 目標	平成25年 目標
購入電力		Kw	176580	167751	159363
燃料	LPC	kg	95	90	86
	ガソリン	L	7764	7376	7007
二酸化炭素		kg	118215	112304	106689
産業廃棄物		kg	35256	33493	31819
一般廃棄物		kg	1620	1539	1462
上水道使用量		m <sup>3</sup>	1380	1311	1245
コピー用紙 使用量		枚	69672	66188	62879



購入電力の排出係数：

0.418(kg-CO<sub>2</sub>/kwh)

(対象期間：4月～翌年3月)





## 5. 環境活動計画及び取組内容

### 1. 電力使用量の削減

責任部署：環境委員会

### 省エネルギー活動

- ① 日射の室内への導入、換気を活用し、エアコンの使用を控える。  
空調の適温化を徹底し、エアコンの ON, OFF 管理をする・・・1年間実施
- ② エアコンフィルターの定期清掃の実施・・・毎月第4金曜日
- ③ 電力測定機器による電力使用量の統括管理をし、節電の協力を呼び掛ける・・・随時実施
- ④ キャノピスイッチを設置・・・8月中に設置
- ⑤ 断熱フィルム張り付け、遮光カーテンの取り付けによる節電・・・6月～9月
- ⑥ 作業現場では非稼働の機械は停止させ電源を切る・・・1年間実施
- ⑦ クールビズ対応(営業マンの制服にポロシャツを導入)・・・6月～9月



室内適温の設定



フィルター清掃日の設定



電力計測器による電力の統括管理



節電の表示



過剰な照明を取りはずす



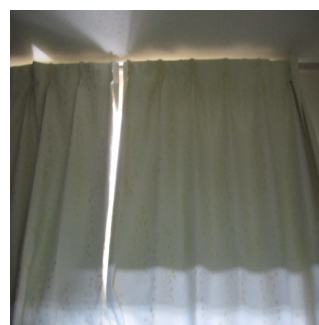
6月～9月までクールビズ実施



省エネ空調機の導入



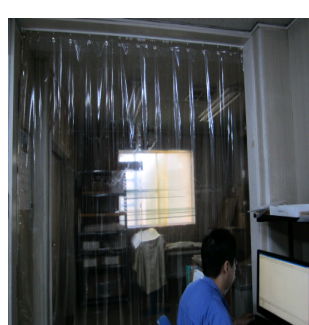
省エネOA機器の導入



遮光カーテンの取付



断熱フィルムの張付



ビニールカーテンで仕切り



扇風機の有効利用

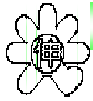
### 2. ガソリン使用量の削減

責任部署：営業部

- ① 公共交通機関の利用
- ② エコ運転の徹底 (急発進急加速しない、アイドリングストップ)
- ③ 車のエアコンの適正使用
- ④ タイヤ空気圧の定期点検、補充  
年間通して随時活動



タイヤ空気圧の定期点検、補充



## 5. 環境活動計画及び取組内容

### 省資源活動

#### 1. 上水道使用量の削減

責任部署：総務部



- ① 音姫の継続使用の実施
- ② トイレ水量の最小限設定(ペットボトル作戦)
- ③ 節水表示及び節水の呼び掛け
- ④ 洗濯物の洗濯頻度の調節



音姫の設置



トイレのタンクにペットボトルを利用



節水の表示

- ◇ 社内共通サーバーを有効利用し部署内の印刷物を削減
- ◇ 社内電子掲示板を利用し社内各種通知の印刷物を削減
- ◇ 顧客に提出する各種書類もメールを利用し紙の節約

#### 2. コピー用紙使用量の削減 責任部署：営業部

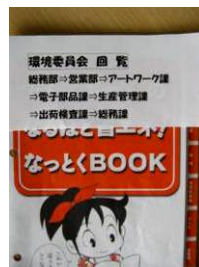
- ① 裏紙の有効利用
- ② 両面印刷、縮小印刷の利用拡充
- ③ メールの有効活用、データ上での対応
- ④ 会議時プロジェクターの利用 (ペーパーレス化)
- ⑤ 回覧の有効利用
- ⑥ 社内データの共有化による印刷物の削減
- ⑦ 不要 FAX への「不要」通知



裏紙の有効利用



プロジェクターの利用



回覧の有効利用



社内電子掲示板を有効に利用



不要 FAX の配信停止

#### 省資源参考データ

- ◇ ペットボトル作戦で年間 169m<sup>3</sup>の水を節約
- ◇ 音姫の利用で年間 13m<sup>3</sup>の水を節約
- ◇ 年間裏紙利用枚数 22700 枚
- ◇ 不要 FAX 停止枚数 60 枚
- ◇ プロジェクターの利用で年間 OA 紙 1600 枚節約



## 5. 環境活動計画及び取組内容

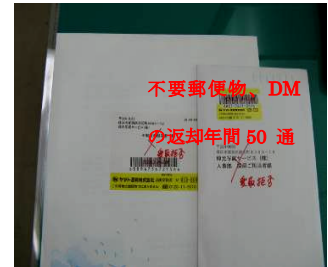
### 廃棄物の削減

#### 1. 一般廃棄物の削減 責任部署：製造部

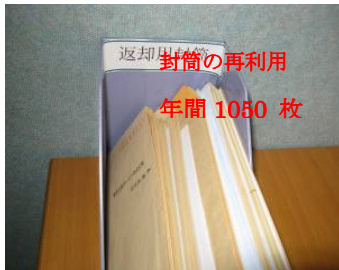
- ① 紙類の分別回収、リサイクル化
- ② 不要郵便物、メール便等の返却
- ③ 封筒の再利用
- ④ 弁当類の容器の削減
- ⑤ マイ箸の利用
- ⑥ 通い箱の導入
- ⑦ プラスチック類の分別、リサイクル化
- ⑧ ダンボール箱の再利用及びリサイクル化



紙類の分別を徹底



DMの返却



封筒の返却による再利用



弁当類容器の削減



通い箱の導入



段ボールの再利用



梱包材の再利用



ごみの分別を徹底

#### 2. 産業廃棄物の削減 責任部署：製造部

- ① 金属類の分別回収、リサイクル化
- ② 廃液交換頻度の調節による第二塩化鉄の削減
- ③ 第二塩化鉄の削減による廃液と廃油の削減
- ④ 廃アルカリ、汚泥の回収、リニューアル化
- ⑤ フィルム描画の効率化による定着液、フィルムの削減



金属類のリサイクル  
年間 80Kg

金属類の分別・リサイクル





## 5. 環境活動計画及び取組内容

### 教育訓練・環境コミュニケーション

- ① 全体朝礼で環境方針の唱和による意識の高揚
- ② 各部署で教育訓練の実施
- ③ 環境委員会議の定期遂行
- ④ 5Sパトロールの実施
- ⑤ 改善提案制度の推進
- ⑥ 近隣訪問
- ⑦ 防災訓練
- ⑧ 鶴見川流域クリーンアップ作戦 2011 に参加

朝礼で環境方針を唱和し  
環境に対する意識を高める



教育訓練は年間計画書通り各部署で実施



営業部教育訓練の実施



週一回 5S パトロールの実施

環境パフォーマンス表で達成状況  
を把握し、対策を取る



月一回の定例環境委員会議



住宅地域に密着した企業として住民とのコミュニケーションを大事に



近  
隣  
訪  
問



5S パトロールの実施



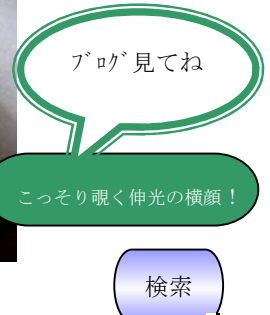
鶴見川クリーンアップ作戦に参加



防災訓練の実施



改善提案の実施



当社は町内会にも入会しており、鶴見川流域クリーンアップ作戦協賛企業でもあります。毎年鶴見川流域子ども風祭りにも協賛し地域社会にも貢献



## 6. 環境活動計画の取組結果とその評価・次年度取組内容

### 環 境 活 動 計 画 結 果 と 評 価

項 目	目 標	取 組 結 果		評 価	
電力使用量の節減	20000kwh/月	15488kwh/月	-23%	○	目標達成
ガソリン使用量の節減	718L/月	660L/月	-8%	○	目標達成
コピー用紙使用量の削減	6816 枚/月	5917 枚/月	-13%	○	目標達成
上水道の使用量 節減	150 m <sup>3</sup> /月	115L/月	-23%	○	目標達成
一般廃棄物の削減	160kg/月	142kg/月	-11%	○	目標達成
産業廃棄物の削減	2388kg/月	2534kg/月	+6%	×	目標未達成
環境汚染の防止	水質・大気汚染の防止	年間苦情件数 0 件	—	○	目標達成
地域社会との協調・連携	環境ボランティア活動	鶴見川クリーンアップ 作戦実施	—	○	目標達成

### 次 年 度 の 取 組 内 容

電力使用量の節減	今年度の計画を継続して実施する。5月と10月空調設備の調節を実施し新たな効果を目指す。
ガソリン使用量の節減	引き続きエコドライブを実施する。 公共交通機関を有効に利用する。
コピー用紙使用量の削減	社内会議用資料、各種通知等の電子媒体利用を徹底する。 取引先とのメールの有効活用。 裏紙の再利用、縮小・両面コピーも継続実施。
上水道使用量の節減	今年度の計画を継続して実施する。工場設備毎の水使用量を把握し、生産活動で利用する上水道削減に努める。
一般廃棄物の削減	社内での梱包方法の見直し及び外注先への呼び掛け。 通い箱の継続実施。
産業廃棄物の削減	フィルム描画の効率化による定着液、フィルムの削減。 製造部の付属材料の有効利用による廃棄物の削減。
環境汚染の防止	化学物質使用量の管理強化。
グリーン購入の推進	環境負荷ができるだけ小さいものを優先して購入する。
地域社会との協調・連携	鶴見川クリーンアップ作戦の継続実施。



## 7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無・代表者による全体評価と見直し

### 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への順守状況は毎年9月に定期評価を行い結果は下記の通りです。

- \* 法律違反はありませんでした。
- \* 訴訟は一切ありませんでした。

主な適用法規	内 容
下水道法	公共下水道、排出量約10t/日、排水の指定業者定期分析
大気汚染防止法	関連施設なし
騒音規制法	地域住民からの苦情なし
振動規制法	関連施設なし
悪臭防止法	対象物質なし
土壌汚染対策法	特定有害物質なし
廃棄物処理法	指定回収業者定期点検

### 代表者による全体評価と見直しの結果

継続性×自主性×創造性という公式が当社の環境活動に大きな変化をもたらしました。

改善提案制度の履行（年間 件）、5S パトロール（年間 24 回）の実施により環境活動、さらに仕事の効率アップに繋がり経済効果も評価できます。

環境パフォーマンスでは水道、コピー用紙、ガソリン、一般廃棄物等目標達成状況が良く年々減少傾向にあります。

特に長年の課題となった電力使用量の目標達成率は電力計測器の導入により省エネルギー管理の徹底、機械設備の利用時間に柔軟性を持つ事で、達成率に大きな変化をもたらしました。今年度は東日本大震災の影響で電力不足が深刻化の中で営業部ではクールビズの実施、3階では窓に遮光カーテン、断熱フィルムの張り付け、全職場キャノピスイッチを設置、省エネルギータイプの空調設備の入替え等新たな対策を実施した結果、エコアクション 21 認定登録以来始めて目標を達成し 22.5%の削減率になりました。近年社内では環境負荷が出来るだけ小さい物を優先して購入する事を継続実施しており、グリーン調達の必要性を認識し環境方針に追加しました。

毎月の環境委員会での環境目的・目標の進捗状況の確認と未達成の恐れのある事項に対する対策、全体朝礼での全社員への報告・アピール、環境に関する教育訓練等による効果が現れたものと考えます。

代表取締役 大山啓治

環境にやさしい電子部品作りを通して世界の人々に幸せを・・・そう願いながら伸光写真は  
今日も環境活動を続けています。

伸びる光の様に・・・

